



各教科等授業改善プロジェクト

2025. .

授業改善研修会 図画工作・美術科

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

群馬県教育委員会事務局

本日の内容

- 1 群馬県教育ビジョンと令和7年度学校教育の指針
～「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」～
- 2 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景
- 3 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」を
具現化するために～本日の授業を基に～

④

① 本日のまとめ

- 思い付いた活動を工夫して繰り返し試すことができ、活動の様子を見合ったり、交流したりできる環境を設定する。
- 具体的に児童生徒が夢中になって活動する姿を思い描いて、実際につくってみる。

I.群馬県教育ビジョン

エージェンシーを発揮する「自律した学習者」へ

~「群馬県教育ビジョン(第4期群馬県教育振興基本計画)」の実現に向けて~

幼稚教育施設から高等学校まで、全ての学校園で取り組みます

自分できびくつこと楽しい
失敗してもいい自分のことでいい
エージェンシーを発揮する「自律した学習者」になっていくことが大切です。

学校生活の中で、写真のような子供たちの姿が現れるといいでよい。そのためには、子供たち一人一人がエージェンシーを発揮する「自律した学習者」になっていくことが大切です。

でも、実際は、こんな感じの子が多いな…
言葉でいふるかもしないかと思っています。
言われたことだけやればいいわ。

エージェンシーとは、「人が健生き生まれついで持っている自己と社会をより良くしようと働く意欲・原動力」です。
学ぶ内容は、幼稚園教育要領や学習指導要領に示されている内容であり、これまで変わりません。
今、私たち教師に必要なのは、子供たち自身の力を使い、学びの転換を図ることです。

一貫型の課業を受けるだけの
愛意のある学び

運動的で他者と協働した学び
(身体的・対話的で深い学び)

自己決定
対話・交流
試行錯誤

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す!

● 群馬県教育委員会 平田部美教育長からのメッセージ
子供たちは、生まれながらにして自分で社会をより良くしようと働く意欲をもたらす、探究的・成長しようとする力をもっています。その力を生かした教育の実現に向けて、失敗してもいいことを学んで取り組んでいきましょう。

メッセージ動画は[こちら](#)

令和6年3月 群馬県教育委員会
(エージェンシーを発揮するための学びを指導するリーフレット)

共通認識したいこと

自分事化

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す!

幼稚園教育要領や学習指導要領の資質・能力の三つの柱(「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」)の育成を目指して、具体的な取組の例を示します。

- 《取り入れたい場面》を意識した問題解決的な学びを行いましょう。
- 教師は見守りつつ、適切な支援(意欲や目的意識を高める問いかけ、比較・分類・関連等を意識した発問等)を行いましょう。

*子供たちが好きなことを自由にしてよいということではなく、課題の解決に向け、友達と協働しながら自分たちの力でより良い方法を考えることができるようになりますが大切です。

《取り入れたい場面》

- 自己決定 当事者意識を持ち、主体的に学習に取り組む
対話・交流 自分の考えを広げ、他者との共感や理解を深める
試行錯誤 失敗や誤りから学び、より効果的な解決策を導く

発達の状況に応じて、「自分で考え、決める」割合が増えています。

ポイント

「幼稚期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いて、環境の構成をしましょう。

● 水遊びの場面(水遊びおもちゃ)



水が高いところから低いところに落ちる仕組みを利用した「くじらのおもちゃ」を用意して、見守ります。

教科学習の素地となる遊びが自然に行われます。

行事等



活動自体が目的ではなく、自分たちで行事を作り上げていく意義を実感し、より良い社会を実現するために何ができるかという視点を持って生活できるように支援しましょう。



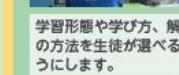
エージェンシーを発揮(自律した学習者)

中学校

ポイント

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきましょう。

● 1年理科「光の性質」の全身が映る鏡の大きさを考える場面



小学校

ポイント

「課題を自ら見だし、考える」場面を増やし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるようにしましょう。

● 1年算数「ながさくらべ」の比較の仕方について考える場面



リボンや鉛筆等、比較に使われる具体物を用意して、自由に使えるようにします。

子供たち同士で試行錯誤しながら、長さの比べ方を考えることができます。

総合的な学習(探究)の時間



総合的な学習(探究)の時間は、実社会や実生活の課題を解決する実践の場であり、そこでの振り返りが各教科等の学びに深まりと広がりを生み出すことになります。



活動自体が目的ではなく、自分たちで行事を作り上げていく意義を実感し、より良い社会を実現するために何ができるかという視点を持って生活できるように支援しましょう。

ポイント

自らの生き方や社会の課題の解決に向けた探究的な学習となるように、単元・題材をデザインしましょう。

● 英語コミュニケーション! 課題について考察する場面

私たちの町は近隣の地域の課題ってどんなことがあるかな?

Your Project
To work on social issues around you and to give a presentation in English

Solutions
To widen the road
To pave gravel roads
(砂利を舗する。) To make a slope
(斜面を作る。)

私たちの町は高齢化が進んでいるよね。

実社会における課題を自分化し分析・考察した上で、具体的な提案・解決策を英語でプレゼンテーションする単元をデザインします。

地域や社会を調べ、試行錯誤しながら課題の解決につながる提言をすることができました。

ポイント

探究意欲(ワクワク感)を高められるような課題と出会う活動を設定したり、やりがいや達成感を味わえるよう、自分の思いを形にする場を設定したりしましょう。

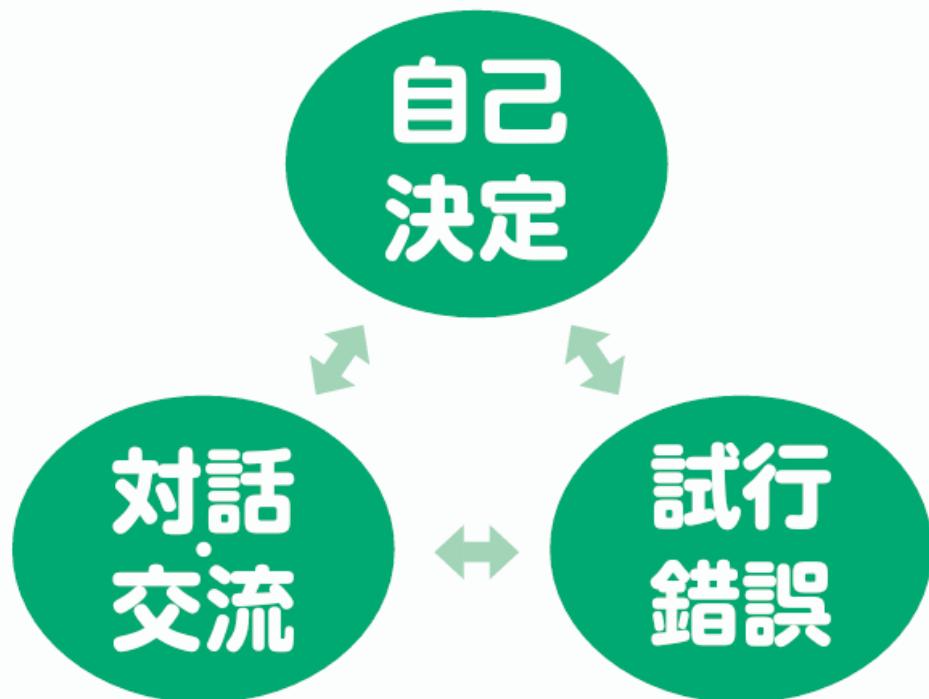
上記の場面はあくまでも一例です。総合的な学習(探究)の時間と行事等は、どの校種にも置き換えて考することができます。

I.群馬県教育ビジョン

自分事化

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

《取り入れたい場面》



ポイント

小学校

「課題を自ら見いだし、考える」場面を増やし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるようにしましょう。

ポイント

中学校

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきましょう。

I. 令和7年度学校教育の指針

～特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント～

図画工作・美術科で 特に現れてほしい子供の姿

自分が表したいことを考え、材料や表し方を決めて、自分なりに工夫して表したり、作品や行為に込められた思いや願いを読み取り、自らの表現に生かしたりしている

授業づくりのポイント

- ・児童生徒の実態に合わせて、材料や表し方を繰り返し試すことができる環境を設定する。
- ・表現と鑑賞が一体化する場・空間・機会・時間を設定する。

自己
決定

- ・自ら活動や表現方法、材料を選択

対話
交流

- ・互いに活動や作品を自然と見合う

試行
錯誤

- ・自ら活動や表現方法、材料を追求

2. 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

題材設定の工夫

R6文科省「図画工作科」連絡・研究協議会より

児童が、興味や関心をもち主体的に取り組むことができるような題材を、教師の創意工夫を生かして設定し、児童の資質・能力を育成するようにすることが大切

材料

用具

場所

鑑賞の対象

楽しく使えるように

興味・関心を生かす

経験を生かす

発想のきっかけ

発想や構想の過程

表現方法

題材名

活動

時間

2. 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

教師主導の授業から児童生徒主体の授業へ

- ・一つの型や方法に固執し児童が自己決定する場が少ない授業
- ・特定の表現のための表し方を身に付けるような偏った授業

学習指導要領に課題として挙げられているものの、依然多い現状がある。
理由は、上手な作品になりやすく、評価しやすく、取り入れやすいから。
しかし児童生徒が本来もつ多様な見方、表し方の工夫が作品に活かされにくい。

ポイント



児童生徒が自分で使う材料や表し方を決めたり、周囲と対話したり、
作品を鑑賞したりしながら、一人一人の思いが表せるようにする。

2. 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

「13歳の心の空模様」

(中学1年・表現)

桐生市立清流中学校



R6 授業改善プロジェクト

ねらい

構想と表現方法との関係を再度見直し、自分の意図に応じた試しの活動を繰り返すことを通して、自分の意図に応じた表現を見付けることができるようにする。

昨年度の授業改善プロジェクトより

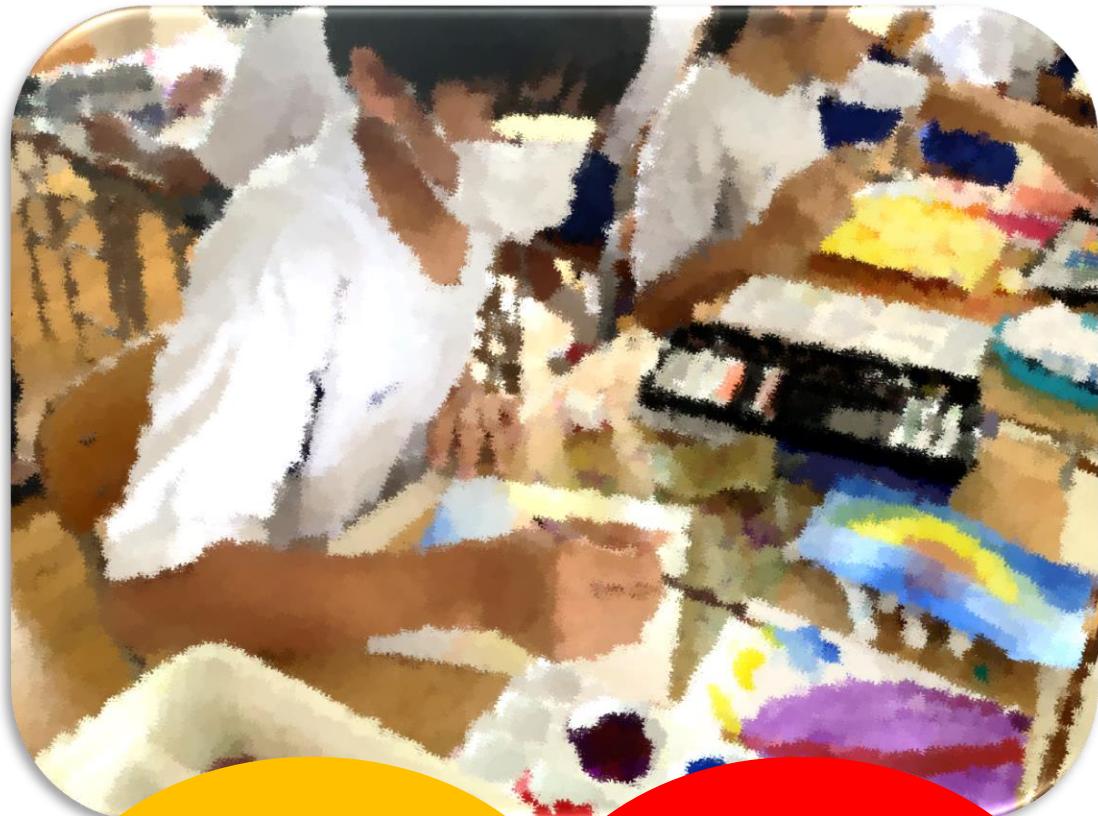
試しの活動の充実とは

「安心して試行錯誤できる工夫」

- 安心・安全な活動場所
- 何度もくりかえし試す機会
- 失敗してもよい雰囲気づくり



材料や用具の特性に気付き、
中心となる考え方をもち、
創造的な表現につながる



試行
錯誤

自己
決定

昨年度の授業改善プロジェクトより

表現と鑑賞について

「密接な関係」

- 表現が鑑賞に生かされ
鑑賞が表現に生かされる
学習効果が高まる工夫をする

「自然と友達の様子がわかる」

- 対話・交流を促す
座席の配置や試しの場づくり
環境の構成を工夫する



対話
交流

昨年度の授業改善プロジェクトより

往還を促す環境の設定とは

「表現と鑑賞の往還」

- 材料・用具コーナーの充実
- 展示コーナーの設置
- 試しの場の確保



ひとつのアイデアでは
終わらない、つくり・
つくりかえ・つくる喜び



本日の授業では…

高崎市立入野小学校

表す過程

材料や場の特徴を生かして、細長い紙をつけたり、つないだりすることを通して、感覚や気持ちを生かしながら自分で思い付いたことを工夫してつくることができるようとする。



細長い紙のつけ方やつなぎ方、また材料や場の特性から感じた感覚や気持ちを生かしながら、思い付いたことを工夫して見立てたり、表したりすることができた。

3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

図画工作科の授業を重ねることで、児童の実態が分かってくる。
その実態に合わせて、授業づくりをする。

同じ向きでの活動の場面



3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

図画工作科の授業を重ねることで、児童の実態が分かってくる。
その実態に合わせて、授業づくりをする。



グループ・机なしの場面



3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

図画工作科の授業を重ねることで、児童の実態が分かってくる。
その実態に合わせて、授業づくりをする。

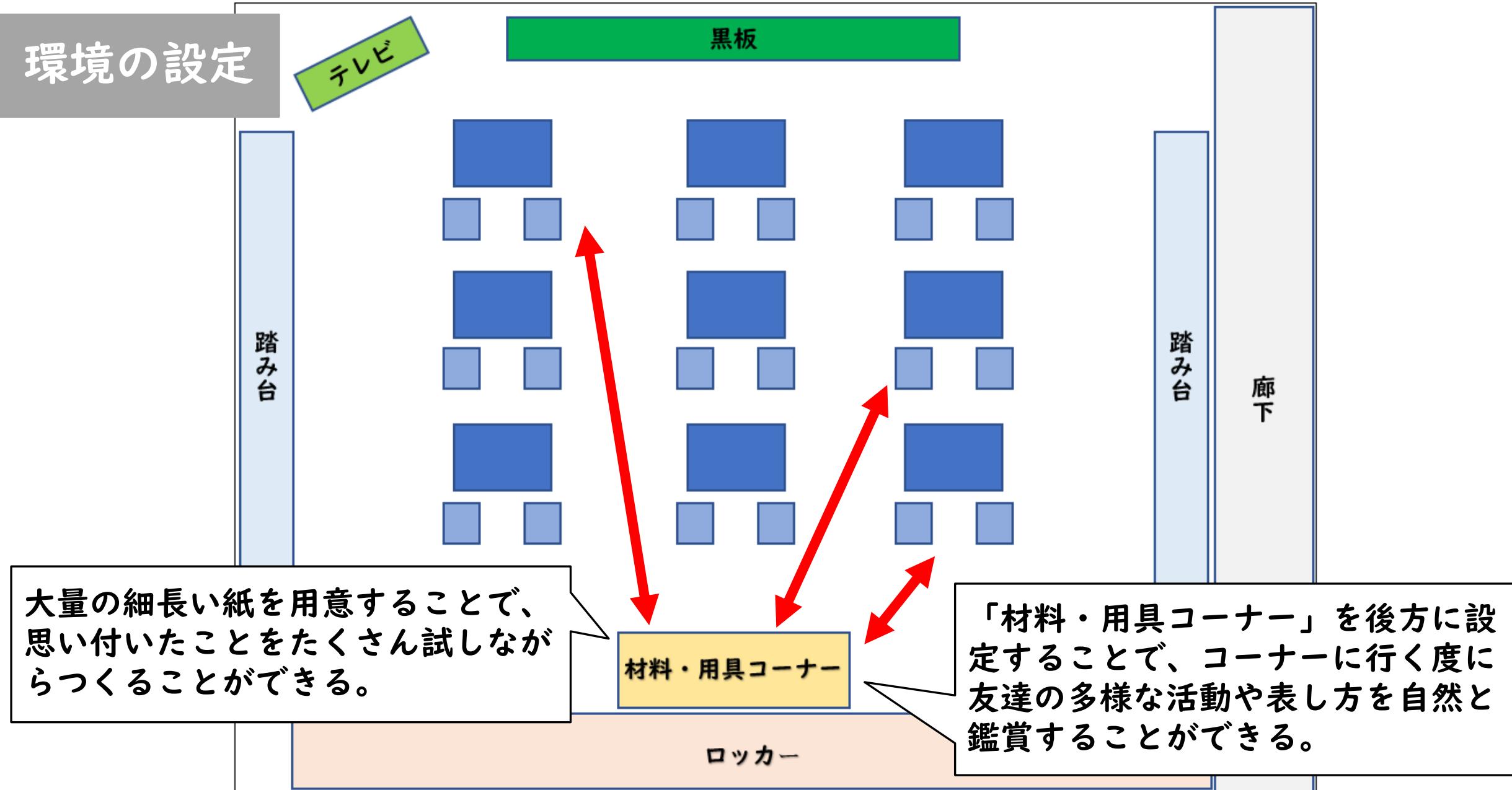


対話・交流の場面



3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

環境の設定



2. 「特に現れてほしい子供の姿と授業づくりのポイント」設定の背景

具体的に目の前の児童生徒が夢中になっている姿を思い描くことで検討できる



「材料や用具は何をどれくらい？」

「時間はどれくらい？」

「活動のどの場面で声掛けしていったらよい？」



児童生徒の立場となって、
実際につくるなかで…



「紙の大きさは選べるとよいな」

「1時間では時間が足りないから2時間にしよう」

「主題を表すときにつまずきそうだから、声掛けが必要だな」

3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

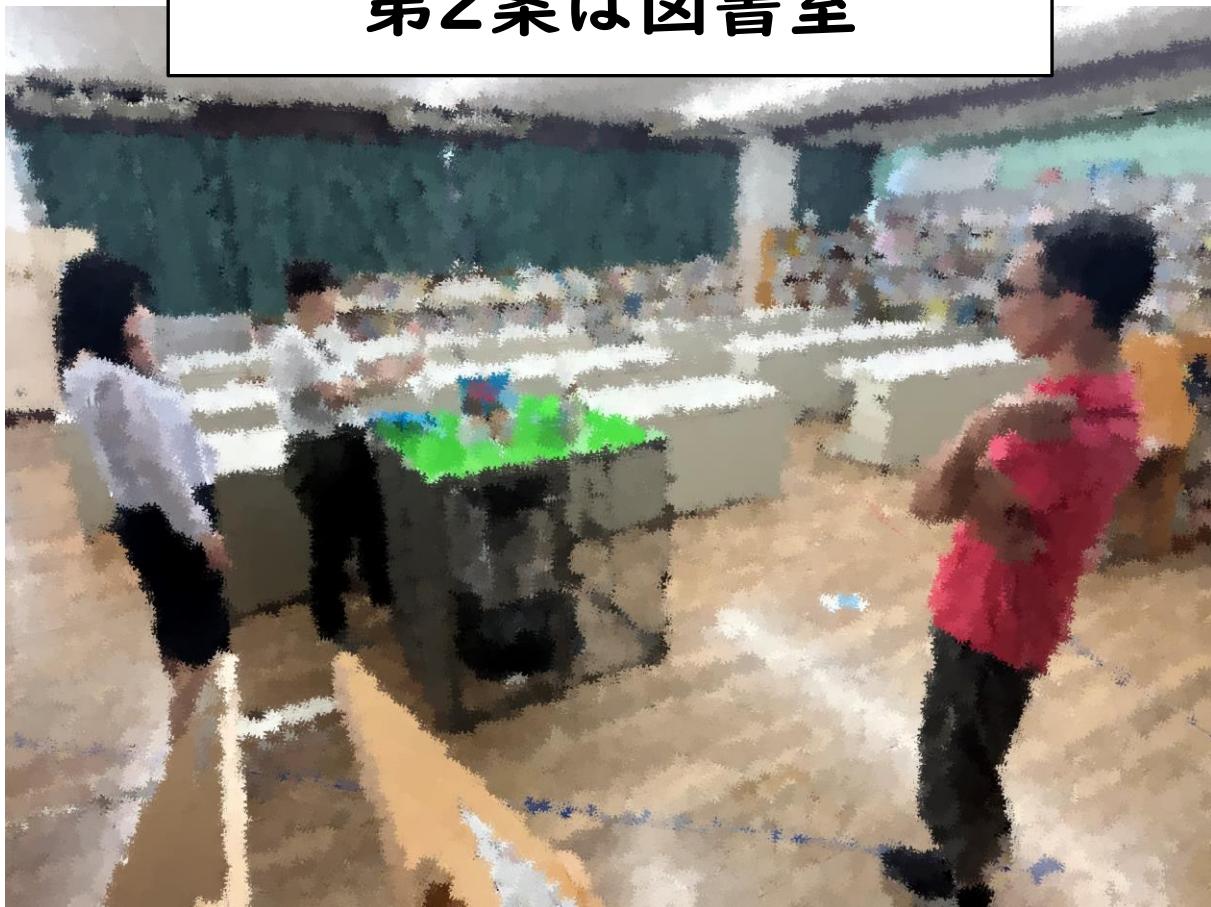
授業の実施場所は、どこがよいのか。教室、廊下、体育館、校庭、図書室、特別教室、主体的な活動を促す最適な場所を検討する。



当初案は体育館



第2案は図書室

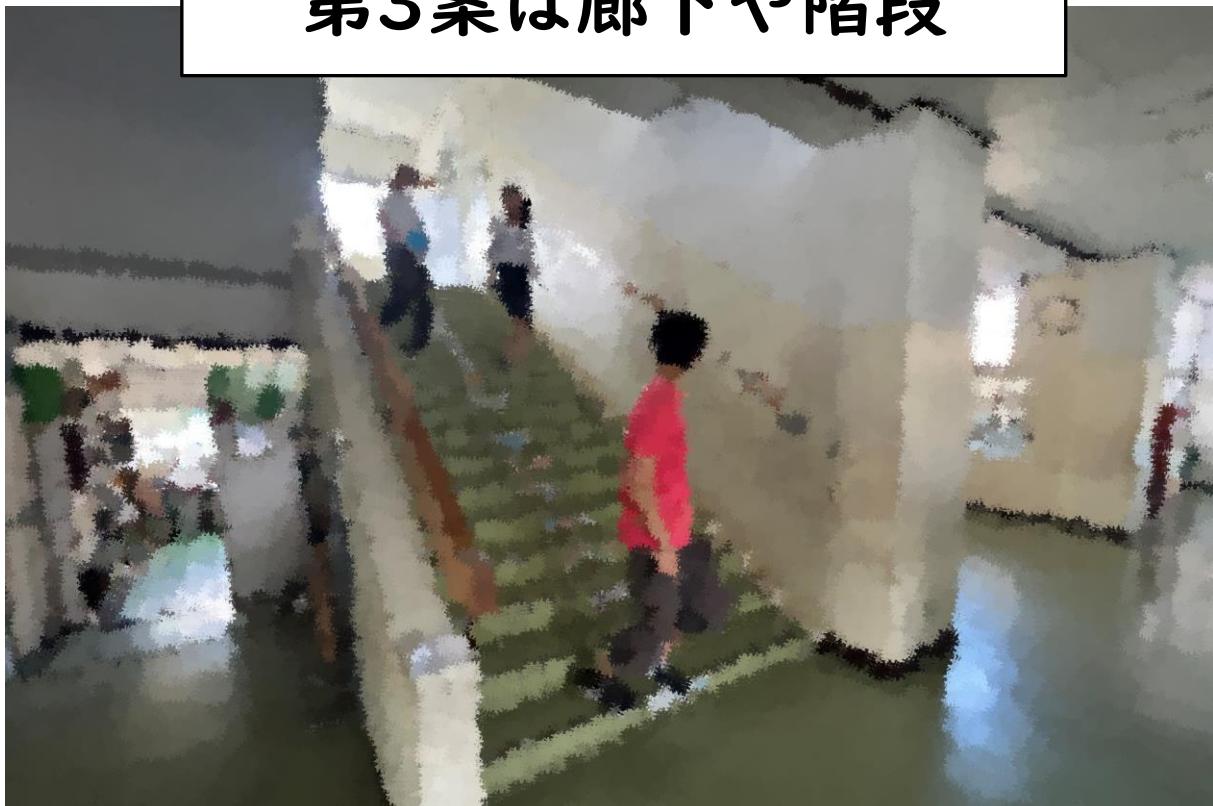


3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

授業の実施場所は、どこがよいのか。教室、廊下、体育館、校庭、図書室、特別教室、主体的な活動を促す最適な場所を検討する。



第3案は廊下や階段



第4案は算数室



2年生の活動に丁度よい広さ、つくり、一定期間使用できる算数室

3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

児童が生き生きと作品づくりできるように、紙の素材、色、大きさ、長さ、粘着テープの種類について、試作づくりを通して検討する。



紙の種類の検討



試作づくり



3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

材料コーナー、掲示コーナー、机の配置などの環境の設定では、児童の主体性や交流を促すよう、内容、種類、量、配置について検討する。



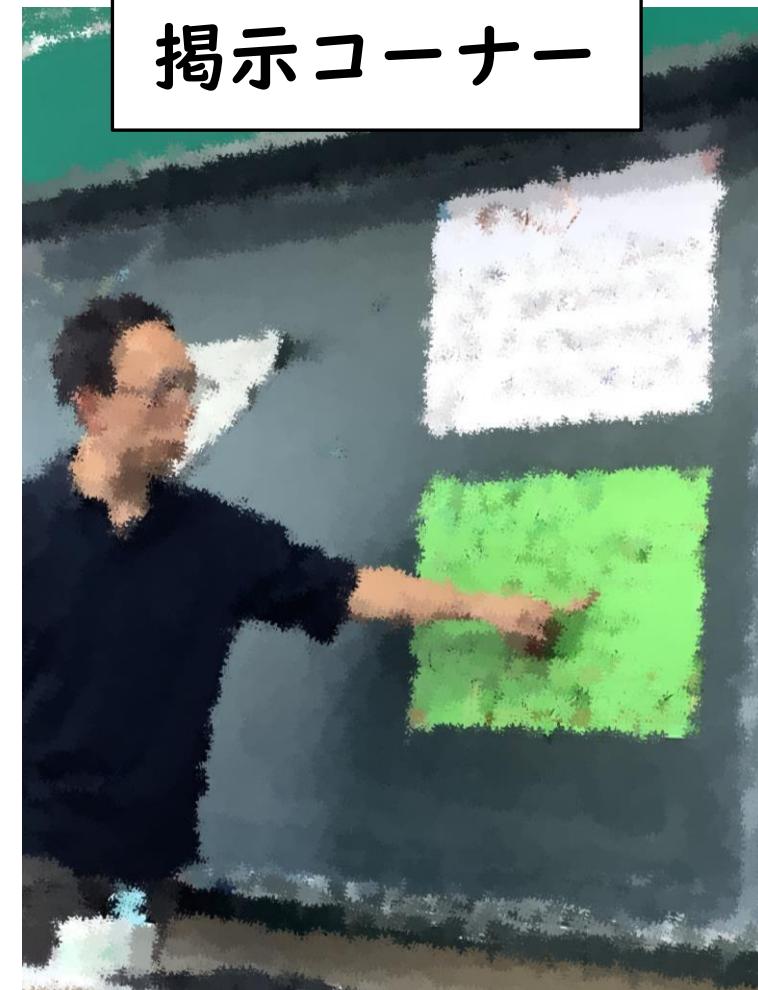
材料コーナー



用具コーナー



掲示コーナー



3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

材料コーナー、掲示コーナー、机の配置などの環境の設定では、児童の主体性や交流を促すよう、内容、種類、量、配置について検討する。



上履きのまま上れる踏み台



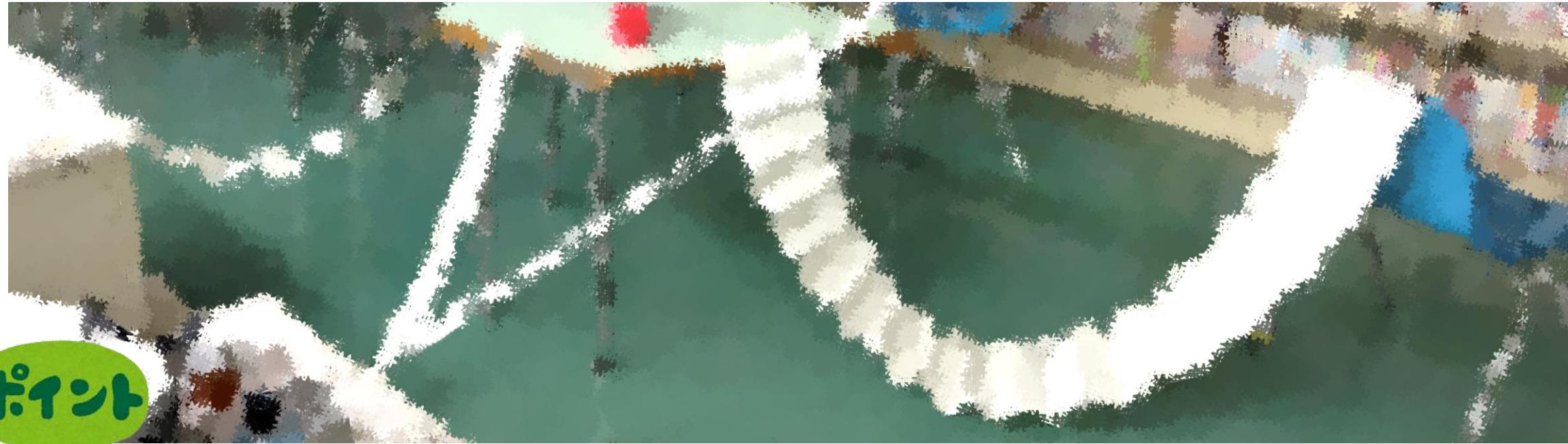
1つの机に2つの椅子の配置



本日の授業では・・・

表す過程

細長い紙のつけ方やつなぎ方、また材料や場の特性から感じた感覚や気持ちを生かしながら、思い付いたことを工夫して見立てたり、表したりすることができた。

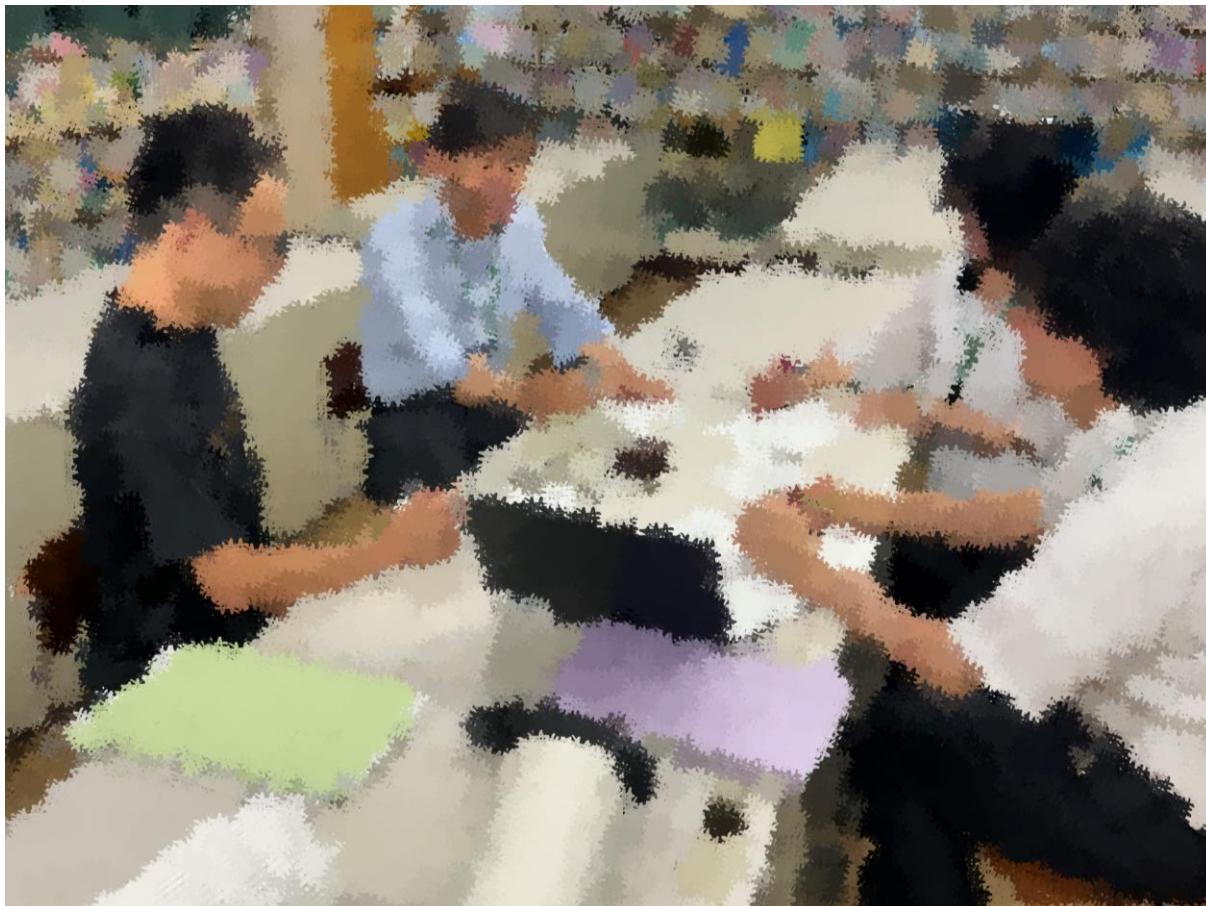


ポイント

児童生徒が思い付いたことを工夫して繰り返し試すことができ、活動の様子を見合ったり、交流したりすることができる環境を設定するために、具体的に児童生徒が夢中になって活動する姿を思い描いて、実際につくってみる。

3 特に現れてほしい姿と授業づくりのポイントを具現化するために

話し合いを重ねることで、授業が明確になってくる。授業づくりをする集団としての思いがすり合ってくる。授業づくりを楽しむ。



本日のまとめ

- 思い付いた活動を工夫して繰り返し試すことができ、活動の様子を見合ったり、交流したりできる環境を設定する。
- 具体的に児童生徒が夢中になって活動する姿を思い描いて、実際につくってみる。

